

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

グリーンコープ  
かごしま生協発

地域の皆さんと子どもたちが  
集える居場所をオープン!

吉野寺みらい食堂

吉野寺  
みらい食堂

「吉野寺みらい食堂」は  
組合員の思いがこもった基金を活かして  
運営しています

吉野寺みらい食堂の食材や経費は「グリーンコープこども基金」によって賄われています。組合員が毎月拠出している福祉活動組合員基金(100円基金)の一部も、こども基金の財源になっています。



栄養満点のお弁当と  
具だくさんのカレー



4月のオープン当日、80人以上の子どもや大人、ボランティアや運営側を合わせて102人が参加しました。新型コロナウイルス感染対策のため、テーブルにはアクリル板を設置し、6人用テーブルに2人が座り、人数制限をして入れ替えを行いながらの開催となりました。参加者は心をこめて作られたお弁当やカレーを楽しみました。

4月24日、鹿児島市に、子ども食堂「吉野寺みらい食堂」(以下、みらい食堂)がオープンしました。子どもたちが笑顔になれる、地域の人々の居場所となることをめざし、グリーンコープかごしま生協の組合員と地域のお寺、吉野寺と一緒に運営しています。

地域の学校や郵便局、障がい者施設、市役所や県庁にもチラシを置いてもらい、多くの方々へ参加を呼びかけました。利用料金は、高校生以下は無料、大人は300円。



2020年春、末吉さんから相談を受けたかごしま理事会では、ぜひ子ども食堂をやりたいと意見が一致。副理事長の別所理恵子さんは、「グリーンコープの福祉を学び、地域の子どものための居場所をつくりたいと考えていました。末吉さんと私たちの思いがみごとにつながりました」と振り返ります。早速実現に向けて動き出すことになり、

理事や組合員事務局、福祉や共同購入のワーカーの有志と末吉さんの12人で運営委員会を立ち上げ、開催に向けた話し合いを始めました。

みらい食堂のオープンは、コロナ禍に見舞われ1年ほど延期を余儀なくされました。その間も運営委員会は、県や市との連携を深め、鹿児島島の地域食堂ネットワークに加入して研修を受け運営について学ぶなど、着々と準備を進めました。食事だけでなく、子どもたちが地域の方々と交流し、学習したり遊んだりできるように、「みんなのひろば」の時間を食事の前後に設けることにしました。

地域をあげて子どもたちを見守る第一歩を、みらい食堂は組合員自らの足で踏み出しました。

みらい食堂は、吉野寺の門徒会館で毎月第4土曜日に開催されています。グリーンコープ組合員でもある吉野寺の末吉美和子さんは、台所や広間を備えた門徒会館を地域のために活用したいと、以前から考えていました。メディアで子どもの虐待のニュースなどに触れて心を痛め、「子どもが笑顔になれる居場所として、子ども食堂をつくりたい」と思うようになった。グリーンコープの生命や食べもの、環境に対する考え方に信頼を寄せていた末吉さんは、グリーンコープに相談することになりました。

みらい食堂のオープンは、コロナ禍に見舞われ1年ほど延期を余儀なくされました。その間も運営委員会は、県や市との連携を深め、鹿児島島の地域食堂ネットワークに加入して研修を受け運営について学ぶなど、着々と準備を進めました。食事だけでなく、子どもたちが地域の方々と交流し、学習したり遊んだりできるように、「みんなのひろば」の時間を食事の前後に設けることにしました。

みらい食堂は、子どもだけでなく地域の誰もが気軽に來ることができ、誰にでも開かれた食堂、居場所になることをめざしています。「一見何事もなさそうに見えても、何かしら問題を抱えている子どももいるはず。いろんな立場や世代の人とのふれあいの中から、元氣や刺激、発見が生まれ、生きる力を得ることができればと思います。『一人じゃないよ』という気持ちを伝えたい」と末吉さん。別所さんは「大人は子どもの主体性を大切に

に、寄り添う存在でありたいと考えています。何気ない会話から悩みがポロツと出てきた時には力になりたい」と話します。子どもたちを見守り、温かい言葉をかけてくれる大人がいれば、子どもたちにとつて安心して身を置ける地域になる。それが子どもたちの心と体を健やかに育てることになる。そんな、子どもたちが安心して集える地域の拠点にしたいと、かごしまでは考えています。民生委員や児童福祉委員をはじめ近隣地域の方々からも、この取り組みに期待し、協力を申し出る声もあります。

子どもたちが  
ホッとできる居場所を

コロナ対策を万全にして  
オープン



コロナ対策や食中毒対策を万全にして調理を行っています。



5月は感染状況が悪化したことから、お弁当やカレーを配布しました。4月に参加した子どもたちが友だちを誘って来てくれました。

# 共生の時代

みどりの地球を  
みどりのままで

2021 8 月

■発行：一般社団法人グリーンコープ共同理事会  
■編集：共生の時代・編集部  
■〒812-8561  
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号  
博多博通ビルディング3階  
TEL 092 (481) 7923  
FAX 092 (481) 7876  
<https://www.greencoop.or.jp/>

## Contents

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| 豊浦みらい基金<br>設立記念シンポジウム                | 2   |
| 酪農生産者交流会                             | 3   |
| りんご・みかん早期予約の取り組み<br>産直りんごの今季の作柄      | 4・5 |
| 自生GMナタネ汚染調査報告会                       | 6   |
| 追悼 パーシー・シュマイザーさん<br>ゼンさんからのレター vol.4 | 7   |
| イチオシ! め産直米                           | 8   |
| 別紙にて、「放射能汚染と向きあう<br>(放射能測定室より)」を掲載   |     |

## グリーンコープ

グリーンコープは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を實現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任と消費の責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナリシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS